

委託事業実施内容報告書
平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】
内容報告書

団体名： つながれジャパニーズ

1. 事業の概要

事業名称	和歌山県における日本語教育事業—寄り添う心はお互いさま・日本語でつながろう—
事業の目的	和歌山県に在住する外国人の日本語教育支援及び日本語を使った日本事情の説明や生活に役立つ情報提供を行う。 また、「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り、自立した生活ができ、日本人との相互理解を深め、互いの文化を尊重できるようになることを目的とする。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	和歌山県は他府県に比べ「生活者としての外国人」に対する日本語指導の場が非常に少ない。和歌山市では国際交流協会などによる日本語支援活動が存在するが、特に岩出市・紀の川市においては工場・飲食店での労働者や技術研修生などの外国人が年々増加傾向にあるものの、日本語教室はほとんどなかった。その為、つながれジャパニーズを27年7月に設立し「生活者としての外国人」に必要な日本語指導、地域住民との交流に努めている。しかし、活動場所・周知の手段・日本語教育に携われる人材など社会資源に乏しい。
事業内容の概要	公共交通手段の少ない岩出市・紀の川市にいて学習者が日本語教室開催地へ赴く手段は主に自転車であるため、通学可能な地区に日本語教室を開講する必要がある。そこで、地域のコミュニティセンター等の場所の確保を行う。岩出市・紀の川市に在住する外国人に対し日本語教育機関があることを周知する。方法は、市の協力を得て市報に情報を掲載、住民課での案内や呼びかけ、ポスターやチラシの配布等をお願いする。学習者のニーズに合った授業の時間帯に対応できるように指導者の増員が必要であるため、養成・研修プログラムを作成・周知し、積極的に地元のボランティア参加者を募る。その際、多文化共生社会の課題と地域日本語教育の役割、言語意識・異文化コミュニケーション能力の養成を意識した上で、地域の日本語支援の実際的な技術を学ぶ。日本語教室で扱う内容は、「カリキュラム案」の教材例集にある「生活上の行為」を中心としたもので、活動を振り返り議論を重ねる中で、地域で使用する具体的な語彙及び方言を使用した教材の作成を行う。
事業の実施期間	平成28年6月～平成28年3月（10 か月間）

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	秦野 吉弘	岩出市教育委員会
2	神徳 政幸	紀の川市企画部
3	仁藤 伸昌	近畿大学生物理工学部地域交流センター
4	中島 紀生	和歌山県国際交流協会
5	長友 文子	和歌山大学国際教育研究センター
6	服部 圭子	つながれジャパニーズ(近畿大学生物理工学部)
7		
8		
9		
10		



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成28年7月7日(木) 10:00～12:00	2時間	近畿大学生物理工学部	秦野吉弘・神徳政幸・仁藤伸昌 ・中島紀生・長友文子・服部圭子 ・矢野史子・平野典子・中野豊子	1. H28年度事業の内容説明 2. 各取り組みへについて意見交換
2	平成29年3月7日 (火) 10:00～12:00	2時間	近畿大学生物理工学部	秦野吉弘・神徳政幸・仁藤伸昌 ・中島紀生・長友文子・服部圭子 ・矢野史子・平野典子	1. H28事業の進捗状況報告、H29年度申請内容の説明 2. 質疑応答並びに意見表明・事業への評価・まとめ

(2) 事業の実施体制

事業全般の打合せ(中核メンバー会議)：有職メンバーのため、各事業実施に関する打合せは、本業に差支えの無い夜7時以降に、平均3時間をかけておこなった。

日本語支援活動：教室型5教室、学習者32名、各教室毎月平均4回(各1.5時間)を平野・中野が運営。保育が必要な際は矢野が担当。対話型1教室、学習者10名、月平均2回(各1.5～2時間)を服部・矢野が運営。保育必要時には矢野が担当。岩出公民館及び紀の川市公民館3か所で開催。開講総回数は150回以上である。

人材養成講座・研修：服部を中心に講師交渉を行い、10名の講師により1日1.5時間x2回の講座を計10日(20回 30時間)実施。矢野、平野は講座支援者として参加。講座終了後受講生は研修のため、各日本語支援活動を見学・研修中。今後のボランティア活動について受講生との打合せを実施。

教材作成：服部・平野・中野・矢野の中核メンバーに加えて、日本語指導者である青木優子・増野輝美が担当。外国人学習者約100名を対象に日本語にkに関するアンケートを実施し、KJ法による分析で扱うテーマを案を選定。10テーマについて各担当者がそれぞれ資料を収集し、作成会議を経て教材作成に当たっている。

(3) 地域における連携体制

後援団体である紀の川市役所・岩出市教育委員会・県国際交流協会・近大生物理工学部・和歌山大学国際教育研究センターとは、本事業の地域への広報・情報提供・人材紹介・公民館の利用だけでなく適切な助言を頂くなど、事業の実施に関しては密接な連携・協力体制を維持している。これは、運営委員による働きかけの成果でもある。岩出市の保育所はイスラム教のハラル食を理解し、外国人児童への給食・おやつ提供の面で配慮がなされている。また、地域のNPO法人根来山げんきの森倶楽部による、植物公園への外国人女性のパートタイム技術員としての受け入れ、那賀高校を通じて外国人学習者の紹介があるなど、地域での国際理解・国際交流が進められている。資料収集やポスター掲示のため地域の郵便局や図書館、スーパー、病院、地域自治会などを訪問し協力を要請したことで、「生活者としての外国人」の存在が広く知られることになり、団体や組織だけでなく、地域住民との連携もできつつある。また、養成講座の受講生からは、ボランティア活動への希望が寄せられている。

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称： つながれジャパニーズ 】 岩出サンホール N4レベル										
目的・目標	日本語を使って。昨年できなかったことが、今年できるようになる。国でできていたことを、日本でもできるようになる。日本で自立した生活を楽しむ。									
対象	技能実習生									
取組の内容	教室でシステマチックに日本語を勉強し、新しい文型や文法を習得する。 日本人社会で聞いている日本語を整理し、語彙の意味や使う方法を習得する。 教室で習った日本語を日本人社会で使ってみる。									
実施期間	平成28年 8月 11日～平成29年 3月16日					曜日・時間帯		木曜日(19:30 ～ 20:00)		
開催回数	全 33 時間 (1回 1.5 時間 × 22 回)					開催場所		和歌山県岩出サンホール		
参加者	総数 207人 (日本語学習者182 人、 指導者・支援者 25 人など)					使用した教材・リソース		文化庁教材例集・みんなの日本語 初級2本冊		
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	
							12			
カリキュラム案活用	Ⅷ 社会の一員となる									
日本語教育の実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要		指導者名	補助者名	
1	平成28年8月11日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	12	各自のレベルの把握	自己紹介・プレースメントテスト(N5レベル)		平野・中野	なし	
2	平成28年8月18日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	12	動詞の活用がスムーズにできるかの把握	みんなの日本語初級Ⅰ 動詞の活用の復習・聴解練習(N5レベル)		中野	なし	
3	平成28年8月25日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	12	N5レベルの聞き取りができるかの把握	聴解練習(N5レベル)		中野	なし	
4	平成28年9月1日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	12	説明を求める・説明をする 説明して丁寧な依頼をする	みんなの日本語初級2本冊26課 新出語彙導入 文型 ～んです カリキュラム案 15地域社会のルールを守る		平野	なし	
5	平成28年9月8日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	12	説明を求める・説明をする 説明して丁寧な依頼をする	みんなの日本語初級2本冊26課 文型 ～んですが、～ていただけませんか ～ですが、疑問詞～たらいいですか カリキュラム案 15地域社会のルールを守る		平野	なし	
6	平成28年10月6日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	9	できること・できないことを可能動詞を使って言える。 見える・聞こえるなどの状態が言える。	みんなの日本語初級2本冊27課 新出語彙導入 可能動詞導入 見えます・聞こえます		中野	なし	
7	平成28年10月13日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	7	できること・できないことを可能動詞を使って言える。 見える・聞こえるなどの状態が言える。	みんなの日本語初級2本冊27課 文型 ～ができます・～しか～ません 対比の「は」		中野	なし	
8	平成28年10月20日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	8	「ながら」を使って言える 習慣的な行為が言える いくつかの理由が言える	みんなの日本語初級2本冊28課 新出語彙導入 文型～ながら・～ています カリキュラム案 15地域社会のルールを守る		平野	なし	
9	平成28年10月27日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	8	「ながら」を使って言える 習慣的な行為が言える いくつかの理由が言える	みんなの日本語初級2本冊28課 文型～し・～し(並列/理由) カリキュラム案 15地域社会のルールを守る		中野	なし	
10	平成28年11月10日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	6	「～ています」「～てしまいました」「～てしまいました」を使って状態や完了、残念・遺憾の気持ちが言える。	みんなの日本語初級2本冊29課 新出語彙導入 文型 ～が～ています・～は～ています カリキュラム案 16地域社会のルールを守る		中野	なし	
11	平成28年11月17日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	10	「～ています」「～てしまいました」「～てしまいました」を使って状態や完了、残念・遺憾の気持ちが言える。	みんなの日本語初級2本冊29課 前回の復習 文型 ～てしまいます(完了) ～てしまいました(残念・遺憾)		中野	なし	
12	平成28年11月24日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	10	事物の状態を説明できる 準備しておくことが言える 準備の指示がわかる	(NHK和歌山取材) みんなの日本語初級2本冊30課 新出語彙導入 文型～てあります		平野	なし	
13	平成28年12月1日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	9	事物の状態を説明できる 準備しておくことが言える 準備の指示がわかる	みんなの日本語初級2本冊30課 文型～ておきます(準備・措置・放置)		平野	なし	

14	平成28年12月8日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	6	自分の意志、計画や 予定を言い表すこと ができる	みんなの日本語初級2本冊31課 新出語彙導入 文型 ～よう ～ようと思っています カリキュラム案 15地域社会のルールを守る	平野	なし
15	平成28年12月15日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	8	自分の意志、計画や 予定を言い表すこと ができる	(養成講座受講修了者見学) みんなの日本語初級2本冊31課 「惣菜製造でよく使う語集」	平野	なし
16	平成29年1月12日(木) 19:30～21:00	0	岩出サンホール	0		学習者都合休み	中野	なし
17	平成29年1月19日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	7	文の書き方の練習 発表の練習	みんなの日本語 副教材『初級で話せるトピッ クス25』第31課 今年の目標 今年の目標についての作文・発表	中野	なし
18	平成29年1月26日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	7	今までの文型の確認・復 習	みんなの日本語初級2本冊 第31課 復習・問題	中野	なし
19	平成29年2月2日(木) 19:30～21:00	0	岩出サンホール	0		学習者都合休み	中野	なし
20	平成29年2月16日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	6	忠告や助言・推量の 表現が使える	みんなの日本語初級2本冊第32課 新出語彙導入 文型 ～ほうがいいです	中野	なし
21	平成29年1月23日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	5	忠告や助言・推量の 表現が使える	みんなの日本語初級2本冊第32課 文型 ～でしょう ～かもしれません	中野	平野
22	平成29年3月2日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	5	日本文化を伝える	「ひなまつり」 ひなまつりの歴史につ いて て簡単な読 解 折り紙でひな人形作り	中野	なし
23	平成29年3月9日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	5	指示・命令を理解する ことができる 伝言や伝言を伝えるこ とができる	みんなの日本語初級2本冊33課 新出語彙導入 文型 命令形 禁止形 カリキュラム案 15地域社会のルールを守る	平野	なし
24	平成29年3月16日(木) 19:30～21:00	1.5	岩出サンホール	6	指示・命令を理解する ことができる 伝言や伝言を伝えるこ とができる	みんなの日本語初級2本冊33課 文型 ～と書いてある～は～という意味～と言った ～と伝えて… カリキュラム案 15地域社会のルールを守る	平野	なし

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第5回 平成28年11月24日(木)】

つながれジャパニーズの日本語教室にNHK和歌山が取材に来た。カメラマンと音声の方々が授業をしている教室の撮影をし、インタビューから日本語でインタビューを受けた。

テレビカメラを向けられても堂々とした受け答えができ、今後の日本での自信に繋がったのではないかとと思われる。かなり貴重な経験をした。



○取組事例②

【第22回 平成29年3月2日(木)】

日本文化理解ということで「ひなまつり」を題材に取り上げた。

折り紙も初体験のようで 折り紙選びから みんな会話も自然と出てきて 活発に取り組んでいた。



(2) 目標の達成状況・成果

アンケート結果はまずまずの評価であった(アンケート実施日29年3月9日・実施人数5名)

シフト性の仕事を持っている技能実習生の教室である。居住地の近くに教室を開講してほしいとの要望があり、開講した。開講当初は常雇勤務であり、教室に通いやすかったが、最近は半分の学習者が早朝勤務になったため、出席できなくなってしまった。

アンケート結果をみると、教室に通ってきていることに満足している様子が伺える。レベルの差があるため、簡単に感じたり難しく感じたりするのではないかとと思われる。職場で聞く和歌山弁の解説や日本事情の説明体験も盛り込み、日本になじめるような授業展開をしてきた成果がアンケート結果に表れたと推察される。

(3) 今後の改善点について

シフト勤務の学習者であるため、指導者の仕事の休日と合わず教室外活動ができていない。年に数回日曜日を全員休みにして頂くように会社にもお願いすることも必要かと思われる。

日本語指導についてはこれまで通り、教科書と学習者が会社でよく耳にする日本語を軸にしたいと思う。

日本語教育の実施【活動の名称： つながれジャパニーズ 】 上岩出コミュニティセンター ゼロレベル									
目的・目標	日本語を使って、昨年できなかったことが、今年できるようになる。国でできていたことを、日本でもできるようになる。日本で自立した生活を楽しむ。								
対象	技能実習生・日本人の配偶者								
取組の内容	教室でシステムチックに日本語を勉強し、新しい文型や文法を習得する。 日本人社会で聞いている日本語を整理し、語彙の意味や使う方法を習得する。 教室で習った日本語を日本人社会で使ってみる。								
実施期間	平成28年 6月 18日～平成29年 3月18日					曜日・時間帯	土曜日(17:45 ～ 19:15)		
開催回数	全 50.5 時間 (1回 1.5 時間 × 28回) (1回 6.5 時間 × 1回) (1回 2.0 時間 × 1回)					開催場所	和歌山県岩出市上岩出コミュニティセンター 和歌山県岩出市上岩出公民館		
参加者	総数 169 人 (日本語学習者 110人、指導者・支援者 59 人 見学者は含まない)					使用した教材・リソース	文化庁教材例集・みんなの日本語 初級2本冊・みんなの日本語中級1本冊		
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	1						3		
	バングラディッシュ 3名								
カリキュラム案活用	Ⅲ 消費活動を行う Ⅳ 目的地に移動する								

日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名	
1	平成28年6月18日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	簡単な依頼、指示、申し出ができ、また、それに答えることができる。今何をしているのか言える。	みんなの日本語初級1本冊 14課 提出項目：～ています カリキュラム案 物品購入	平野	平野銀	
2	平成28年6月25日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	許可を求めることができる。禁止されていることがわかる。身近な話題について話せる。	みんなの日本語初級1本冊 15課 新出語彙導入 ～てもいいです・～てはいけません・～ています カリキュラム案 物品購入	平野	平野銀	
3	平成28年7月2日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	日常生活の行動を順を追って話せる。人や物、場所などについて、簡単な描写説明ができる。	みんなの日本語初級1本冊 16課 新出語彙導入 <て形>、<て形>、～<て形>+から、～ カリキュラム案 物品購入	平野	なし	
4	平成28年7月16日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	日常生活の行動を順を追って話せる。人や物、場所などについて、簡単な描写説明ができる。	みんなの日本語初級1本冊 16課 提出項目：～は～が～<て形>～で カリキュラム案 物品購入	平野	なし	
5	平成28年7月17日(日) 9:00～15:30	6.5	上岩出公民館	16	文化紹介・送別会・暑気払い	学習者全員と買い物に行き、調理室でそれぞれの国の料理を作り、作り方を発表しながら食す。日本語でゲームをする。	中野・平野	矢野・田中・小澤・平野銀・中嶋・山村	
6	平成28年7月23日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	日常生活の行動を順を追って話せる。人や物、場所などについて、簡単な描写説明ができる。	みんなの日本語初級1本冊 16課 復習 カリキュラム案 物品購入	平野	田中	
7	平成28年8月8日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	規則、禁止事項が理解できる。しなければならないこと、しなくてもいいことが理解できる。	みんなの日本語初級1本冊 17課 新出語彙導入 <ない形>+ないでください・<ない形>+なければなりません カリキュラム案 物品購入	平野	平野銀	
8	平成28年8月20日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	規則、禁止事項が理解できる。しなければならないこと、しなくてもいいことが理解できる。	みんなの日本語初級1本冊 17課 <ない形>+なくてもいいです・～は(目的語のとりたて) カリキュラム案 物品購入	平野	なし	
9	平成28年8月27日(土) 17:45～19:15	0	上岩出コミュニティセンター	0		学習者都合休み	平野	なし	
10	平成28年9月3日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	規則、禁止事項が理解できる。しなければならないこと、しなくてもいいことが理解できる。	みんなの日本語初級1本冊 17課 復習 カリキュラム案 物品購入	平野	平野銀	
11	平成29年9月10日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	できること、できないこと、趣味について簡単に話せる。	みんなの日本語初級1本冊 18課 新出語彙導入 <名詞>ができます・<辞書形>ことができます(能力と可能)	平野	平野銀	
13	平成29年10月8日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	できること、できないこと、趣味について簡単に話せる。	みんなの日本語初級1本冊 18課 趣味は〇〇です・〇〇まえに、～ カリキュラム案 物品購入	平野	田中・平野銀	
14	平成29年10月15日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	5	経験したことについて話せる。物事や状況の変化が簡単に言える。	みんなの日本語初級1本冊 19課 新出語彙導入 <た形>+ことがあります・<た形>+り、<た形>+たりします	平野	なし	

15	平成29年10月22日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	給食のハラルとハラムを見分ける	保育所給食メニューを見ながら、食材の説明をする。ハラルかハラムかの説明や、国にはない日本の食べ物の説明をした。	平野	平野銀
16	平成29年10月29日(土) 17:45～19:16	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	経験したことについて話せる。物事や状況の変化が簡単に言える。	みんなの日本語初級1本冊 19課 ＜いadj＞＜なります＞・＜なadj＞になります・名詞になります カリキュラム案 目的地に移動する	平野	田中・平野銀
16	平成29年11月12日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	5	親しい友達と簡単な普通体の会話ができる。	みんなの日本語初級1本冊 20課 新出語彙導入 普通体の説明・動詞文 カリキュラム案 目的地に移動する	平野	なし
17	平成29年11月19日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	5	親しい友達と簡単な普通体の会話ができる。	みんなの日本語初級1本冊 20課 普通体の練習・い形容詞文・な形容詞文 カリキュラム案 目的地に移動する	平野	平野銀
18	平成29年11月20日(日) 10:00～12:00	2	和歌山県国際交流協会	3	防災について知る	NHK主催 防災イベントに参加 消防署の職員が説明するPPTを指導者のやさしい日本語の通訳を聞きながら見た。AEDや地震の体験をした。	平野	平野銀
19	平成29年11月26日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	親しい友達と簡単な普通体の会話ができる。	みんなの日本語初級1本冊 20課 普通体の練習・名詞文・後続句を用いた文型 カリキュラム案 目的地に移動する	平野	田中
20	平成29年12月3日(土) 17:45～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	5	簡単な意見・感想・予想が言える。人の発言を他の人に伝えることができる。	みんなの日本語初級1本冊 21課 新出語彙導入 ＜普通形＞の練習・＜普通形＞＋＋と思います。	平野	田中・平野銀
21	平成29年12月10日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	1	簡単な意見・感想・予想が言える。人の発言を他の人に伝えることができる。	みんなの日本語初級1本冊 21課 ＜普通形＞の練習・「文」＜普通形＞＋＋と言います	平野	田中
22	平成29年12月17日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	1	簡単な意見・感想・予想が言える。人の発言を他の人に伝えることができる。	(養成講座受講生見学) みんなの日本語初級1本冊 21課 ＜普通形＞の練習・＜普通形＞＋＋でしよう？	平野	平野銀
23	平成29年12月24日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	簡単な意見・感想・予想が言える。人の発言を他の人に伝えることができる。	みんなの日本語初級1本冊 21課 ＜普通形＞の練習・復習 カリキュラム案 目的地に移動する	平野	平野銀
24	平成29年1月7日(土) 17:45～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	連体修飾を使って、人や物のより詳しい描写、説明ができる	みんなの日本語初級1本冊 22課 これは文(名詞)です。文(名詞)は～	平野	なし
25	平成29年1月14日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	連体修飾を使って、人や物のより詳しい描写、説明ができる	みんなの日本語初級1本冊 22課 新出語彙導入 これは文(名詞)を～わたしは文(名詞)が(を)～・復習	平野	平野銀
26	平成29年1月21日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	連体修飾を使って、人や物のより詳しい描写、説明ができる	みんなの日本語初級1本冊 22課 わたしは文(名詞)が(を)～・復習 カリキュラム案 目的地に移動する	平野	田中
27	平成29年2月4日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	簡単な機械の使い方や、道順などが聞いてわかる。	みんなの日本語初級1本冊 23課 新出語彙導入 ○○とき、～	平野	田中
28	平成29年2月18日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	簡単な機械の使い方や、道順などが聞いてわかる。	みんなの日本語初級1本冊 23課 ＜辞書形＞＋と、～	平野	なし
29	平成29年2月25日(土) 17:45～19:15	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	簡単な機械の使い方や、道順などが聞いてわかる。	みんなの日本語初級1本冊 23課 復習 カリキュラム案 目的地に移動する	平野	なし
30	平成29年3月4日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	あげます/もらいます/くれますの動詞が適切に使い分けられる	みんなの日本語初級1本冊 24課 新出語彙導入 ～をくれます	平野	なし
31	平成29年3月18日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	5	あげます/もらいます/くれますの動詞が適切に使い分けられる	みんなの日本語初級1本冊 24課 ＜て形＞＋あげます・＜て形＞＋もらいます・＜て形＞＋くれます	平野	なし

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第5回 平成28年11月20日(日)】

NHK和歌山と和歌山県国際交流協会が主催する防災イベントに参加した。

消防署職員の説明する日本語は難しく理解困難であるため、やさしい日本語に訳しながらの理解であった。途中から英語に訳してくれる指導者があり、参加者は理解がより深まった様子であった。イベントは体験型であったため、AEDや心臓マッサージ、避難所での個人スペースの体験、地震のバーチャル体験をした。日本は地震の多い国であることは分かっているが、いざとなると誰でも慌てる。食料もハラルフードと限られているため準備が大切である。

学習者の住む那賀圏域には世界的にも注目されている根来断層が通っており、南海地震の心配がある。いつ地震が起きても不思議ではない地域に住んでいる私たちにとって、災害に備えることは重要であると再確認した。



○取組事例②

【第20回 平成28年12月15日(土)】

養成講座修了者授業見学

講座だけでは授業のイメージがつかないため、実際の授業に見学に来て頂いた。

初めての日本語授業を見学するにあたり、日本語教師が語彙コントロール・導入・板書の仕方・教師の立ち位置等に注意をしながら授業をしているのかを予め説明し、アンケートを書いて頂いた。皆さん、しっかりと授業を観察しておられた。

この日、残業や研究のため学習者は1人しか出席しておらず、緊張した面持ちで自己紹介をしていた。日本人にインタビューをして他者紹介をするタスクをする頃には、見学者の方の雰囲気よかったせいもあり、楽しんでできていた。



(2) 目標の達成状況・成果

アンケート結果はまずまずの評価であった(アンケート実施日29年3月1日)

アンケートの内容を説明したのだが、隣の人の回答を見て自分もチェックを入れる者がおり、アンケートになっていたのかどうか不安が残った。

日本語ゼロからスタートした者が3人いるクラスである。

子どもを保育所へ入れる。保育所の先生と日本語で話す。お便り帳を日本語で書く。園児の親と日本語で話す。アルバイトを始める。

アルバイト先の日本人と日本語で話す等、日本でできることが徐々に増えてきている。

かなりの達成だと評価して良いと考える。

(3) 今後の改善点について

この調子で教室を継続していきたい。

日本語教育の実施【活動の名称： つながれジャパニーズ 】 粉河ふるさとセンターN3レベル									
目的・目標	日本語を使って。昨年できなかったことが、今年できるようになる。国でできていたことを、日本でもできるようになる。日本で自立した生活を楽しむ。								
対象	技能実習生・日本人の配偶者								
取組の内容	教室でシステマチックに日本語を勉強し、新しい文型や文法を習得する。 日本人社会で聞いている日本語を整理し、語彙の意味や使う方法を習得する。 教室で習った日本語を日本人社会で使ってみる。								
実施期間	平成28年 6月 18日～平成29年 3月18日					曜日・時間帯	土曜日(20:00 ～ 21:30)		
開催回数	全 45 時間 (1回 1.5 時間 × 30 回)					開催場所	和歌山県紀の川市粉河ふるさとセンター 和歌山県岩出市上岩出公民館		
参加者	総数 177 人 (日本語学習者 170人、指導者・支援者 7人 見学者は含まない)					使用した教材・リソース	文化庁教材例集・みんなの日本語 初級2本冊・みんなの日本語中級1本冊		
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
				7		3			
カリキュラム案活用	Ⅰ 健康・安全に暮らす Ⅶ 人とかわかる Ⅷ 社会の一員となる								
日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名	
1	平成28年6月18日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさとセンター	4	「上下」「親疎」の人間関係に基づく尊敬語の表現を理解し、適切に用いることができる	(みんなの日本語初級49課) ～られます・お～になります (カリキュラム案8) 物品購入・サービスを利用する	平野	なし	
2	平成28年6月25日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさとセンター	4	「上下」「親疎」の人間関係に基づく尊敬語の表現を理解し、適切に用いることができる	(みんなの日本語初級49課) 特別な尊敬語・お～ください (カリキュラム案8) 物品購入・サービスを利用する	平野	なし	
3	平成28年7月2日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさとセンター	1	「上下」「親疎」の人間関係に基づく敬語全体の体系を理解し、謙譲語を適切に用いることができる	(みんなの日本語初級50課) お／ご～します (カリキュラム案8) 物品購入・サービスを利用する	平野	なし	
4	平成28年7月16日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさとセンター	12	自己紹介 国の紹介 尊敬語の表現を使える	上岩出コミュニティセンタークラスと合同授業。 新しい学習者が見学に来たため、日本語でゲームをするなどして親睦を深めた。	平野	なし	
5	平成28年7月17日(日) 9:00～15:30	6.5	上岩出公民館	16	文化紹介・送別会・暑気払い	学習者全員と買い物に行き、調理室でそれぞれの国の料理を作り、作り方を発表しながら食す。日本語でゲームをする。	中野・平野	矢野・田中・小澤・平野・銀・中嶋・山村	
6	平成28年7月23日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさとセンター	9	「上下」「親疎」の人間関係に基づく敬語全体の体系を理解し、謙譲語を適切に用いることができる	(みんなの日本語初級50課) 特別な謙譲語 (カリキュラム案8) 物品購入・サービスを利用する	平野	なし	
7	平成28年8月8日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさとセンター	7	「上下」「親疎」の人間関係に基づく敬語全体の体系を理解し、謙譲語を適切に用いることができる	(みんなの日本語初級50課) 丁寧語 (カリキュラム案8) 物品購入・サービスを利用する	平野	なし	
8	平成28年8月20日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさとセンター	7	頼みにくいことを丁寧に頼む 感謝の気持ちを表す	(みんなの日本語中級1課) 新出語彙導入・文型～てもらえませんか (カリキュラム案35) 地域社会に参加する	平野	なし	
9	平成28年8月27日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさとセンター	5	頼みにくいことを丁寧に頼む 感謝の気持ちを表す	(みんなの日本語中級1課) 文型～のようだ・～ことは・～を～と言う・～という～ (カリキュラム案35)	平野	なし	
10	平成28年9月3日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさとセンター	7	頼みにくいことを上手に頼む 感謝の気持ちを表す どこに書いてあるか探しながらかく	(みんなの日本語中級1課) 音声理解・意味理解・ロールプレイ・振り返り (カリキュラム案35) 地域社会に参加する	平野	なし	
11	平成29年9月10日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさとセンター	7	分からない言葉の意味を聞き どうすればいいか確認する	(みんなの日本語中級2課) 新出語彙導入・文型～たら～た・～というの～のことだ・～という (カリキュラム案35) 地域社会に参加する	中野	なし	
12	平成29年10月1日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさとセンター	7	分からない言葉の意味を聞き どうすればいいか確認する	(みんなの日本語中級2課) 文型～ようにいう・みたいだ カタカナ語の縮約形	中野	なし	
13	平成29年10月8日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさとセンター	7	分からない言葉の意味を聞き どうすればいいか確認する	(みんなの日本語中級2課) 音声理解・読解	中野	なし	

14	平成29年10月15日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	3	事情を説明して丁寧に謝 る 丁寧に変更をお願いする	(みんなの日本語中級3課) 新出語彙導入・文型～させてもらえませんか (カリキュラム案46) インターネットを利用する	平野	なし
15	平成29年10月22日(土) 20:00～21:30	0	粉河ふるさと センター	0		学習者仕事の都合で全員休み	平野	なし
16	平成29年11月12日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	4	事情を説明して丁寧に謝 る 丁寧に変更をお願いする	(みんなの日本語中級3課) 文型～ことにする・ことにしている・ことになる 等 (カリキュラム案46)	平野	なし
17	平成29年11月19日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	4	グラフから文章の内容を 想像する	(みんなの日本語中級3課) 音声理解・意味理解・ロールプレイ・振り返り (カリキュラム案46) インターネットを利用する	平野	なし
18	平成29年11月26日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	4	伝言を頼む・受ける	(みんなの日本語4課) 新出語彙導入(文型) 文型導入	中野	なし
19	平成29年12月3日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	3	読解	JLPT・N3 読解試験のポイント説明	中野	なし
20	平成29年12月10日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	6	気持ちの変化を考え る	(みんなの日本語中級4課) 読解 語彙導入・意味確認 (養成講座受講者見学) 岩出からナム・ソン・ 高が参加。	中野	平野
21	平成29年12月17日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	4	伝言を頼む・受ける	(みんなの日本語中級4課) 音声理解・意味理解・ロールプレイ	中野	なし
22	平成29年12月24日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	2	理解できているかど うかの確認	(みんなの日本語中級4課) 練習問題	中野	なし
23	平成29年1月7日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	6	行き方を尋ねる、教え る 道順を尋ねる、教える	(みんなの日本語中級5課) 新出語彙導入・文型あ～そ～文脈指示 (カリキュラム案31) 人と付き合う	平野	なし
24	平成29年1月14日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	6	行き方を尋ねる、教え る 道順を尋ねる、教える	(みんなの日本語中級5課) 文型…んじゃない・～たところで・ようとする等 (カリキュラム案31) 人と付き合う	平野	なし
25	平成29年1月21日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	7	文の書き方の練習 発表の練習	みんなの日本語 副教材『初級で話せるトピッ クス25』第31課 今年の目標についての作文・ 発表 岩出・粉河合同 授業	中野	なし
26	平成29年1月22日(土) 11:00～15:30	4.5	粉河ふるさと センター	5	異文化紹介 調理実習 日本語でゲーム	岩出から来た学習者と一緒に買い物に行き、調理 室でそれぞれの国の料理を作る。作り方を発表しな がら食す。日本語でゲームをする。ナムさん送別 会。	平野	田中・ 平野 銀・渡 部
27	平成29年2月4日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	4	行き方を尋ねる、教え る 道順を尋ねる、教える	(みんなの日本語中級5課) 聞きましょう・話しましょう	中野	なし
28	平成29年2月18日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	4	行き方を尋ねる、教え る 道順を尋ねる、教える	(みんなの日本語中級5課) 読解 道案内時のことば(～沿い・突き当り・Y 字路など)	中野	なし
29	平成29年2月25日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	3	許可を得たいと申し出 る 交渉して許可を得る	(みんなの日本語中級6課) 単語帳を使つての語彙導入	中野	なし
30	平成29年3月11日(土) 20:00～21:32	1.5	粉河ふるさと センター	6	許可を得たいと申し出 る 交渉して許可を得る	(みんなの日本語中級6課) 文型…って…(引用/主題) つもりはない 養成講座受講者1と元精神科医1が見学。学 習者は自己紹介・インタビューをして発表を行	平野	なし
31	平成29年3月18日(土) 20:00～21:30	1.5	粉河ふるさと センター	6	許可を得たいと申し出 る 交渉して許可を得る	(みんなの日本語中級6課) 文型～つもりだった～たつもり～ているつもり ～てばかりいる…とか～てくる～ていく (カリキュラム案31) 人と付き合う	平野	なし

(1)特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第5回 平成28年7月17日(日)】

つながれジャパニーズ学習者が全員集まり、帰国する者の送別会・調理実習・暑気払いを兼ねて異文化理解のある異文化交流をした。

(ベトナム・中国・バングラディッシュ・日本)

イスラム教徒が3名いるため、全員がハラルフードで自国の料理を作った。全員でスーパーに買い物に行き、「国の豆とは違うけど、これでいいかな」などと話し合いながら材料を調達。岩出地区公民館調理室を借りて、ベトナム・バングラディッシュ・中国・日本と4つのグループに分かれて調理した。

食事をしながら各国の料理を日本語で説明。「同じようなものが自分の国にもあるが、何を入れるのか」等の意見交換をする場面も見られた。帰国者にはつながれジャパニーズ日本語教室の修了証書と記念品を渡した。帰国者からは感謝の意が述べられ、全員が別れを惜しんだ。

○取組事例②

【第14回 平成28年12月10日(土)】

養成講座修了者授業見学



(2) 目標の達成状況・成果

アンケート結果は高評価であった(アンケート実施日29年3月11日)

日本語能力試験のための指導はしていないが、昨年12月にN3を合格した者が2名いることから満足のいくカリキュラムであったと思われる。

同一回答者から、前よりまあまあ上手になった・日本での生活が少しできるようになったとの評価があった。これについては学習期間が短い学習者であるため効果は感じられていないのかと思う。

日本語教室だけでなく買い物・調理・食事等全員ですることを提供できたことで、学習者は日本語指導者や補助者に対して親近感や信頼感が持てたと思う。今後もこの活動を継続していきたい。

(3) 今後の改善点について

アンケート結果で、プログラムの内容にまあまあ満足しているが2件であったことを受け、授業内容や進め方を考える必要があるかと思われる。

学習者によって・日本人社会で生活をするために漢字を覚えたい・日本語能力試験に合格したい・国でも現在勤務している日本企業で就労したいため日本語能力を高めたい等、目標が異なるが、全員のニーズに合った授業を組み立てていかなければならないと考えている。

指導者は市販の教材をもっと研究し、授業に取り入れられるものを探してみることにする。

日本語教育の実施【活動の名称:つながれジャパニーズ】おしゃべりの会 上岩出コミュニティセンター									
目的・目標	日常生活での出来事を「おしゃべり」することを通して、日本語・生活支援を行う。								
対象	那賀圏域在住の外国人(技能実習生・日本人の配偶者・留学生など)とその子ども								
取組の内容	対話型日本語支援「おしゃべりの会」。生活日本語の導入、個々の生活で困っていることの課題解決に日本語繋がる支援を行う。(こどもの保育園の連絡帳、職場での会話など)。日本語を使ってそれぞれの国の文化を伝え合い、異文化交流を行う。各々の国の言葉を発表し合い、ランゲージエクスチェンジを行う。学習者の子どもに絵本を用いて話したり、おもちゃで遊んだり、日本語を使って話をする。								
実施期間	平成28年6月15日～平成29年3月8日					曜日・時間帯	水曜日(19:00 ～ 21:00)		
開催回数	全 36 時間 (1回 2時間 ×18 回)					開催場所	上岩出コミュニティセンター		
参加者	総数 192人 (日本語学習者 102人、指導者・支援者 90人など)					使用した教材・リソース	「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 教材例集		
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	6			2					
	バングラディッシュ(3人), アメリカ(1人), 台湾(1人),								
カリキュラム案活用	活動の題材として利用: I 健康・安全に暮らす、Ⅶ人と関わる、Ⅷ社会の一員となる								
日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要		指導者名	補助者名
1	平成28年6月15日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティセンター	3	自由会話	自己紹介		服部 矢野	平野・ 柳野
2	平成28年7月13日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティセンター	2	自由会話	自己紹介、近所づきあい		服部 矢野	平野・ 小澤
3	平成28年7月27日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティセンター	6	自由会話	仕事の話、保育園の連絡帳など		服部 矢野	平野・ 小澤
4	平成28年8月3日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティセンター	9	自由会話	関西弁、敬語、熨斗、お盆の話など		服部 矢野	小澤
5	平成28年8月24日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティセンター	7	自由会話	和風・洋風、保育園の先生とのやりとりや子どもの昼食メニュー、連絡帳、日常生活、仕事など		服部 矢野	平野
6	平成28年9月14日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティセンター	6	自由会話	料理に使う動詞、仕事など		服部 矢野	平野・ 橋本・ 深尾・ 柳野
7	平成28年9月28日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティセンター	5	自由会話	多言語でのあいさつ など		服部 矢野	平野・ 坂井・ 橘・山 崎・大 多和・ 柳野
8	平成28年10月12日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティセンター	8	自由会話	日常の各々の問題		服部 矢野	平野・ 柳野・ 深尾・ 坂井
9	平成28年10月26日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティセンター	8	自由会話	スポーツ、値段など		服部 矢野	平野・深 尾・橘・ 小澤・ 山崎・ 寺本・ 柳野・ 山崎
10	平成28年11月9日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティセンター	8	自由会話	学校生活、日本語表記		服部 矢野	平野・ 大多 和・橘
11	平成28年11月30日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティセンター	5	自由会話	職場の問題、学校行事		服部 矢野	平野・ 山崎
12	平成28年12月14日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティセンター	8	自由会話	クリスマス、買い物、地震など		服部 矢野	平野・ 坂井・ 山崎

13	平成28年12月21日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティ センター	3	自由会話	詳しい自己紹介、趣味など	服部 矢野	平野・ 大多 和・山 崎・寺 本
14	平成28年1月11日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティ センター	7	自由会話	冬休みの出来事、新年のあいさつ、 習慣、省略のことは など	服部 矢野	平野
15	平成28年1月25日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティ センター	8	自由会話	仕事、中国やベトナムのお正月、病気 など	服部 矢野	
16	平成28年2月8日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティ センター	3	自由会話	経験、思い出など	服部 矢野	
17	平成28年2月22日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティ センター	3	自由会話	気候、アメリカ・バングラディッシュの 話など	服部 矢野	坂井・ 増田・
18	平成28年3月8日(水) 19:00～21:00	2	上岩出コミュニティ センター	3	自由会話	就職活動、仕事について など	服部 矢野	坂井

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第9回 平成28年10月26日】 ペアでの日本語活動の1場面。日常会話で近況を話し合った後、参加者の子どもに関わる役所関係の提出物記入の補助を行った。また、保育園での昼食のハラーム食がどれかを、翌月の昼食メニューに書かれている日本語の読み方を説明したり、スマートフォンを利用して絵や写真を見せたりして解説した。

【第5回 平成28年8月24日】 子どもの保育の1場面。毎回、絵本やおもちゃを持参して、母親が日本語学習をしている間、ボランティアと一緒に話したり遊んだりしている。



○取組事例②

【第7回 平成27年9月28日】

毎回、活動の終わりに「ランゲージ・エクスチェンジ」を行う。皆で話し合って決めたことばやフレーズを、参加者の母語でどういふかを紹介しあう。皆の前に出て、文字がある場合は黒板に板書し、紹介した後で、参加者でそのことばを発音してみる。日本と異なる習慣や文化的背景がある場合には、それらを説明したり、質問に答えたりする。この日は、「これはいくらですか」を、ベトナム語、ベンガル語、中国語、台湾語、英語、日本語などで紹介しあった。



(2) 目標の達成状況・成果

回収数は少ないものの、アンケート(平成29年2月10日・平成28年12月14日実施)では、活動参加前と比べて、日本語が少しできるようになり、日本での生活ができるようになったと自覚していることがわかった。また、平成28年11月放映のNHK番組取材のため、参加外国人へのインタビューが行われたが、その際にも「つながれジャパニーズのお陰で日本での生活がなんとかやっているといる」という趣旨のコメントがあった。よって、地域の外国人への学習・生活支援において、貢献できていると考える。

(3) 今後の改善点について

始まったばかりの取り組みなので、地域に住む外国人と出会い参加者を募ることが課題として挙げられる。また、日本語ボランティア養成講座参加者の見学・参加いただいているが、十全たるメンバーとしてより多くの受講者に活躍していただけるような体制を作っていく必要もある。さらに、小さな子どもを持つ母親である外国人からの問い合わせもあり、昼間の活動開催について考えていく予定である。

日本語教育の実施【活動の名称： つながれジャパニーズ 】 上岩出コミュニティセンター N2レベル										
目的・目標	日本語を使って。昨年できなかったことが、今年できるようになる。国できていたことを、日本でもできるようになる。日本で自立した生活を楽しむ。									
対象	技能実習生・近畿大学院生									
取組の内容	教室でシステマチックに日本語を勉強し、新しい文型や文法を習得する。 日本人社会で聞いている日本語を整理し、語彙の意味や使う方法を習得する。 教室で習った日本語を日本人社会で使ってみる。									
実施期間	平成28年 6月 18日～平成29年 3月18日					曜日・時間帯	土曜日(19:30 ～ 21:00)			
開催回数	全 50 時間 (1回 1.5 時間 × 26 回) (1回 6.5 時間 × 1回) (1回 4.5 時間 × 1回)					開催場所	和歌山県岩出市上岩出コミュニティセンター 和歌山県岩出市上岩出公民館 和歌山県紀の川市粉河ふるさとセンター			
参加者	総数 94 人 (日本語学習者 87 人、指導者・支援者 7人など見学者は含まない)					使用した教材・リソース	文化庁教材例集・みんなの日本語 中級1本冊・TRY N2・コロケーションが身につく日本語表現練習帳			
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	
	1			4			1			
カリキュラム案活用	Ⅶ 人とのかかわる Ⅷ 社会の一員となる									
日本語教育の実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要		指導者名	補助者名	
1	平成28年6月18日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	読解	JLPT・N3 読解試験のポイント説明		中野	なし	
2	平成28年6月25日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	模擬試験	JLPT 試験対策 模擬問題を使い 時間内に問題を解く		中野	なし	
3	平成28年7月16日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	不思議な日本語について	学習者が会社や学校で聞いたわからない日本語について質問。討議形式での授業とした。 カリキュラム14他者との関係		中野	なし	
4	平成28年7月17日(日) 9:00～15:30	6.5	上岩出公民館	16	文化紹介・送別会・暑気払い	学習者全員と買い物に行き、調理室でそれぞれの国の料理を作り、作り方を発表しながら食す。日本語でゲームをする。		中野・平野	矢野・田中・小澤・平野・銀・中嶋・山村	
5	平成28年7月23日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	新聞のコラムが読める	新聞コラムの内容を読む。 シェアハウスについて 語彙・文法・状況の説明		中野	なし	
6	平成28年7月30日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	新聞のコラムが読める	新聞コラムの内容を読む。 シェアハウスについて 前回の勉強を踏まえシェアハウスについて討議形式での授業		中野	なし	
7	平成28年8月6日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	N3文法	文章の文法(完全マスター)で確認		中野	なし	
8	平成28年8月20日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	N3文法	文章の文法(完全マスター)で確認		中野	なし	
9	平成28年8月27日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	読解	接続詞の確認		中野	なし	
10	平成28年9月3日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	読解	前回 勉強をした接続詞に注意しながら中文・長文を読む		中野	なし	
11	平成29年10月8日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	不思議な日本語について	学習者が会社や学校で聞いたわからない日本語について質問。討議形式での授業とした。 カリキュラム14他者との関係		平野	なし	
12	平成29年10月15日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	N3文法	よく似た働きをする文型についての確認		中野	なし	
13	平成29年10月22日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	不思議な日本語について	10/8で解決できなかった不思議な日本語について、討議形式にて説明。比較言語として中国語・ベトナム語・日本語の考察。 カリキュラム14他者との関係		平野	なし	
14	平成29年11月12日(土) 19:30～21:00	1.5	粉河ふるさとセンター	3	授業目的、概要については粉河クラス記録参照	粉河教室で合同授業				

15	平成29年11月19日(土) 19:30~21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	模擬試験	JLPT 試験対策 模擬問題を使い 時間を測って問題を解く。	中野	なし
16	平成29年11月26日(土) 19:30~21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	1	聴解	JLPT・N2受験希望者だけの授業となったため、聴解試験のポイント説明と実際の音声で授業。	平野	なし
17	平成29年12月3日(土) 19:30~21:00	0	上岩出コミュニティセンター	0		学習者都合で全員休み	平野	なし
18	平成29年12月10日(土) 19:30~21:00	1.5	粉河ふるさとセンター	3	授業目的、概要については粉河クラス記録参照。	養成講座受講者見学日。平野が補助業務をする必要があり、上岩出コミュニティセンターN2クラスからナム・ソン・高を連れて行く。	平野	なし
19	平成29年12月17日(土) 19:30~21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	新聞のコラムが読める	新聞コラムの内容を読む。 ・江戸時代の師走の風景 語彙・文法・状況の説明	平野	なし
20	平成29年12月24日(土) 19:30~21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	新聞のコラムが読める	新聞コラムの内容を読む。 ・江戸時代の師走の風景 ・川柳と俳句	平野	なし
21	平成29年1月7日(土) 19:30~21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	1	履歴書の書き方	実際の履歴書を使い応募動機などの書き方の練習	中野	なし
22	平成29年1月21日(土) 19:30~21:00	0	上岩出コミュニティセンター	0		学習者都合で全員休み		なし
23	平成29年1月22日(日) 11:00~15:30	4.5	粉河ふるさとセンター	3	異文化紹介 調理実習 日本語でゲーム	岩出から赴き粉河の学習者と一緒に買い物に行く。調理室でそれぞれの国の料理を作る。作り方を発表しながら食す。日本語でゲームをする。ナムさん送別会。	平野	田中・平野 銀・渡部
24	平成29年2月4日(土) 19:30~21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	語と語がいつもきまった形で使われる表現を身につける。	コロケーションが身につく日本語表現練習帳 衣食住(1) 漢字の意味と成り立ちを説明し、「つながる」理屈の理解を深めた。	平野	なし
25	平成29年2月18日(土) 19:30~21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	お知らせなどの文章が読める 求人条件が理解できる	TRYN2 1. スタッフ募集のお知らせ 文型～につき～を問わず カリキュラム15 ゴミ出し	平野	なし
26	平成29年2月25日(土) 19:30~21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	5	語と語がいつもきまった形で使われる表現を身につける。	コロケーションが身につく日本語表現練習帳 衣食住(2) 漢字の意味と成り立ちを説明し、「つながる」理屈の理解を深めた。	平野	なし
27	平成29年3月4日(土) 19:30~21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	語と語がいつもきまった形で使われる表現を身につける。	コロケーションが身につく日本語表現練習帳 衣食住(3) 漢字の意味と成り立ちを説明し、「つながる」理屈の理解を深めた。	平野	なし
28	平成29年3月18日(土) 19:30~21:00	0	上岩出コミュニティセンター	0		学習者都合で全員休み	中野	なし

(1)特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第23回 平成29年1月22日(日)】

つながれジャパニーズ学習者が全員集まり、帰国する者の送別会・調理実習を兼ねて異文化交流をした。(ベトナム・タイ・日本)
全員でスーパーに買い物に行き、各グループで予め決めておいた料理の材料を調達。「ここは安い。今日は高い」など、日ごろの生活が伺われるような会話をしながらの楽しい買い物であった。その後、粉河ふるさとセンターに移動し、調理室でベトナム・タイ・日本の料理を作った。中には国から送ってもらった材料を持ってきて調理をする者もあり、本格的な多国籍料理となった。

食事をしながら各国の料理を日本語で説明。昨年とは違う料理をそれぞれが作り、国で味付けや材料が全然違うことに驚いた。

直近で習った文脈指示の「それ」を活用し、「それは何でしょう」ゲームをして楽しんだ。

帰国者にはつながれジャパニーズ日本語教室の修了証書と記念品を渡した。帰国者からは感謝の意が述べられ、全員が別れを惜しんだ。



○取組事例②

【第21回 平成 29年1月7日(土)】

帰国後 日本企業への就職を希望している学習者に 実物の履歴書を使い履歴書の書き方を勉強した。加えて 面接の受け方も実際の場面を設定し練習をした。

日本語教育の実施【活動の名称: つながれジャパニーズ】 上岩出コミュニティセンター N3レベル									
目的・目標	日本語を使って、昨年できなかったことが今年できるようになる。国でできていたことを、日本でもできるようになる。日本で自立した生活を楽しむ。								
対象	技能実習生								
取組の内容	教室でシステマチックに日本語を勉強し、新しい文型や文法を習得する。 日本人社会で聞いている日本語を整理し、語彙の意味や使う方法を習得する。 教室で習った日本語を日本人社会で使ってみる。								
実施期間	平成28年 8月 6日～平成29年 3月18日					曜日・時間帯	土曜日(18:00 ～ 19:30)		
開催回数	全 39時間 (1回 1.5 時間 × 23回) (1回 4.5時間 × 1回) (1回 時間 × 1回)					開催場所	和歌山県岩出市上岩出コミュニティセンター 和歌山県岩出市上岩出公民館 和歌山県紀の川市粉河ふるさとセンター		
参加者	総数 75 人 (日本語学習者 49 人、指導者・支援者 26人など)					使用した教材・リソース	文化庁教材例集・みんなの日本語初級2本冊・総まとめ・中級へ行こう・コロケーションが身につく日本語表現練習帳		
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
				4			1		
カリキュラム案活用	Ⅶ 人とのかかわる Ⅷ 社会の一員となる								
日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要		指導者名	補助者名
1	平成28年8月6日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	1	各自のレベルの把握	自己紹介・プレースメントテスト		中野	なし
2	平成28年8月20日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	「上下」「親疎」の人間関係に基づく尊敬語の表現を理解し、適切に用いることができる	(みんなの日本語初級49課)～られます・お～になります (カリキュラム案8) 物品購入・サービスを利用する		中野	なし
3	平成28年8月27日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	「上下」「親疎」の人間関係に基づく尊敬語の表現を理解し、適切に用いることができる	(みんなの日本語初級49課)特別な尊敬語・お～ください (カリキュラム案8) 物品購入・サービスを利用する		中野	なし
4	平成28年9月3日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	「上下」「親疎」の人間関係に基づく敬語全体の体系を理解し、謙譲語を適切に用いることができる	(みんなの日本語初級50課)お／ご～します (カリキュラム案8) 物品購入・サービスを利用する		中野	なし
5	平成28年9月10日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	JLPT N3	総まとめ N3 文法		中野	なし
6	平成28年10月1日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	JLPT N3	総まとめ N3 文法		中野	なし
7	平成28年10月8日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	JLPT N3	総まとめ N3 文法		中野	なし
8	平成29年10月15日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	食生活について考える	中級へ行こう1課 語彙導入・意味確認 文型 ～と言えば～だ・も・Nは～こと		中野	なし
9	平成29年10月22日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	食生活について考える	中級へ行こう1課 ディクテーション・作文		中野	なし
10	平成28年11月12日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	災害についての対処法	中級へ行こう2課 語彙導入・意味確認 文型 ～のでしょうか・意向形・～のは～だ		中野	なし
11	平成29年11月19日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	災害についての対処法	中級へ行こう2課 自動詞・他動詞 ディクテーション・作文		中野	なし
12	平成29年11月26日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	最近の子供について	中級へ行こう3課 語彙導入・意味確認 文型 ～ようなN・Nばかり・つい～てしまう		中野	なし
13	平成29年12月3日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	読解	JLPT・N3 読解試験のポイント説明		中野	なし
14	平成29年12月10日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	3	気持ちの変化を考える	(みんなの日本語中級4課) 読解 語彙導入・意味確認		中野	なし
15	平成29年12月17日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	最近の子供について	中級へ行こう3課 文型 たい・たがる ようだ ディクテーション・作文		中野	なし
16	平成29年12月24日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	日本のイメージ	中級へ行こう4課 語彙導入・意味確認 文型 ～ていく・～てきた NのようなN		中野	なし

17	平成29年1月7日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	文の書き方の練習 発表の練習	みんなの日本語 副教材『初級で話せるトピックス25』 第31課 今年の目標についての作文・発表	中野	なし
18	平成29年1月21日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	日本のイメージ	中級へ行こう4課 比較の復習 ディクテーション・作文	中野	なし
19	平成29年1月22日(日) 11:00～15:30	4.5	粉河ふるさとセンター	2	異文化紹介 調理実習 日本語でゲーム	岩出から赴き粉河の学習者と一緒に買い物に行く。 調理室でそれぞれの国の料理を作る。作り方を発表しながら食す。日本語でゲームをする。ナムさん送別会。	平野	田中・平野 銀・渡部
20	平成29年2月4日(土) 18:00～19:30	0	上岩出コミュニティセンター	0	睡眠について	学習者都合で全員休み	中野	なし
21	平成29年2月18日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2		中級へ行こう5課 語彙導入・意味確認 文型 ～さ・～ものだ・連用中止	中野	なし
22	平成29年2月25日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	4	読解	中文の読解練習	中野	なし
23	平成29年3月4日(土) 19:30～21:00	1.5	上岩出コミュニティセンター(N2レベルと合同授業)	2	語と語がいつもき まった形で使われる 表現を身につける。	コロケーションが身につく日本語表現練習帳 衣食住(3) 漢字の意味と成り立ちを説明し、「つながる」理屈の理解を深めた。	平野	なし
24	平成29年3月18日(土) 18:00～19:30	1.5	上岩出コミュニティセンター	2	睡眠について	中級へ行こう5課 もの・こととの復習 ディクテーション・作文	中野	なし

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第19回 平成29年1月22日(日)】

つながれジャパニーズ学習者が全員集まり、帰国する者の送別会・調理実習を兼ねて異文化交流をした。(ベトナム・タイ・日本)
全員でスーパーに買い物に行き、各グループで予め決めておいた料理の材料を調達。「ここは安い。今日は高い」など、日ごろの生活が同われるような会話をしながらの楽しい買い物であった。その後、粉河ふるさとセンターに移動し、調理室でベトナム・タイ・日本の料理を作った。中には国から送ってもらった材料を持ってきて調理をする者もあり、本格的な多国籍料理となった。
食事をしながら各国の料理を日本語で説明。昨年とは違う料理をそれぞれが作り、国で味付けや材料が全然違うことに驚いた。
直近で習った文脈指示の「それ」を活用し、「それは何でしょう」ゲームをして楽しんだ。
帰国者にはつながれジャパニーズ日本語教室の修了証書と記念品を渡した。帰国者からは感謝の意が述べられ、全員が別れを惜しんだ。



○取組事例③

【第17回 平成29年1月7日(土)】

みんなの日本語初級Ⅱ 副教材『初級で話せるトピックス25 第31課』を使い各々の今年の目標・幅を広げて帰国した後 したいこと・夢などを作文に書いてもらい、発表の時間も設けた。
また 干支の話もし 日本では登場しない動物の名前が出てきたりし お互いがそれぞれの国の文化や風習の違いを知ることができた。

(2) 目標の達成状況・成果

学習者の第1の目標であるJLPT合格が まだ 達成できてなく 今後も この方面での指導を徹底したいと思う。日本語教室以外でも食事会の場を設け他のクラスの学習者や日本語指導者・補助者に対し親近感を持たせたと その後 届いたメッセージで感じられたので今後もこのような場を設けていきたい。

(3) 今後の改善点について

現場での実習生もおり なかなか全員が揃うこともなく レベルもまばらである。アンケート結果で、プログラムの内容にまあまあ満足しているがあったことを受け、今後 授業内容や進め方を考える必要があると思われる。また イントネーションやアクセントの指導も必要と思われる。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施 【活動の名称： つながれジャパニーズ:多文化社会における日本語教育のための「ことば」の学習 】

目的・目標	日本語活動の空白地域である岩出市・紀の川市において、。多文化化する日本社会における地域の日本語教育の必要性を周知し、地域に埋もれた人材を発掘し、日本語を通じて外国人と日本社会をつなぐ人材を育成する。								
対象	当該地域の住民								
取組の内容	多文化・多言語社会で生活する外国人との共生を念頭に言語・生活支援の在り方を学び、ことばに対する意識を深め、コミュニケーション能力を身に付けつつ、具体的な日本語支援の技術の学び方を学ぶことである。								
実施期間	平成28年9月10日～平成28年12月 3日				曜日・時間帯		土曜日(13:00～16:30)		
開催回数	全 30時間 (1回 3時間 ×10 回)				開催場所		岩出地区公民館・紀の川市立打田生涯学習センター		
参加者	総数 261人 (日本語学習者 0 人、 指導者・支援者 53人など)				使用した教材・リソース		標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例ほか、自作教材		
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	日本(42人)								
カリキュラム案活用	生活者としての外国人に必要な日本語について伝え、地元で取り上げることができる活動内容について考える活動を実施								

養成・研修の実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師名	補助者名
1	平成28年9月10日(土) 13:00～16:30	3	岩出地区 公民館	34	多文化社会:世界の ことばと日本語/地域日 本語ボランティアっ て?	地域日本語ボランティアの歴史および概 要の説明。言語意識育成の重要性と世 界のことばに関する知識、日本語を相対 化する視点について	服部圭子 長友文子	矢野・ 平野・ 平野・ 深尾
2	平成28年9月17日(土) 13:00～16:30	3	紀の川市立 打田生涯学 習センター	33	多文化共生と「こと ば」の問題・外国人 にわかるやさしい日 本語	多文化共生について。「やさしい日本 語」について	藤原麻佐代 日本語ボラン ティア経験者の皆さ ん	服部・ 平野・ 田中・ 平野・ 橋本・ 柳野
3	平成28年9月24日(土) 13:00～16:30	3	紀の川市立 打田生涯学 習センター	28	日本語について 考える①/ ボランティア体験談	「生活の漢字」学習支援活動のため の 基礎知識	新庄あいみ	矢野・ 平野・ 柳野
4	平成28年10月1日(土) 13:00～16:30	3	紀の川市立 打田生涯学 習センター	24	「生活者としての外国 人」に必要なこと・地域 との「連携」「協力」な ど	生活者としての外国人について。地 域での活動の具体性、連携・協力に ついて	山野上隆史	服部・ 矢野・ 平野・ 平野・ 銀・柳 野
5	平成28年10月8日(土) 13:00～16:30	3	紀の川市立 打田生涯学 習センター	23	やってみよう 日本語支援①	生活語彙・会話と文法・日本語で日本語 を説明するおもしろさ・日常会話 雑談の中の「文法」について	南方里衣子	田中・ 平野・ 田中
6	平成28年10月15日(土) 13:00～16:30	3	紀の川市立 打田生涯学 習センター	26	やってみよう 日本語支援②	生活語彙・会話と文法・実践他・「生活者 としての外国人」にとって有用な知識・言 語能力について	小田原多万美	服部・ 矢野・ 平野・ 平野・ 銀・田 中
7	平成28年10月22日(土) 13:00～16:30	3	紀の川市立 打田生涯学 習センター	21	日本語について 考える②	「外国語として日本語を見るヒント」・ クイズから考える	岡本能里子	服部・ 矢野・ 平野・ 平野・ 銀

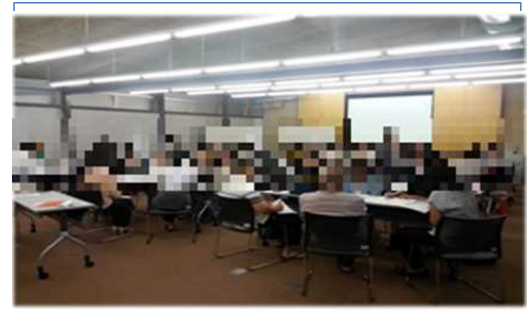
8	平成28年11月12日(土) 13:00~16:30	3	岩出地区 公民館	28	やってみよう 日本語支援③	やりもらい表現・方言・日本語学習者の誤用例(失礼な言い方になってしまいう 間違い)について	山田 佳古	服部・矢野・平野・平野・銀・田中
9	平成28年11月19日(土) 13:00~16:30	3	岩出地区 公民館	23	日本語について考える③	学習者の例から・受刑囚への日本語支援、留学生への日本語支援について	中野 律	服部・矢野・平野・田中
10	平成28年12月3日(土) 13:00~16:30	3	岩出地区 公民館	21	和歌山県における日本語支援/まとめ/修了式	和歌山県における日本語支援について/地域日本語活動の実際・まとめと振り返り	長友 文子 服部圭子	服部・矢野・平野

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第1回 H28年9月10日ほか】

- ・初回で当該の活動および養成講座の紹介、多文化共生社会の現状、地域日本語ボランティアについての概論、日本語を客観視し、また世界のことばについて意識すること、やさしい日本語で話すことの大切さなどについての講義を行ったが、それに加え、現在、「つなぐれジャパニーズ」に実際に参加しているバングラディッシュ人夫妻にも来ていただき、外国人と日本人のコミュニケーションの実際を受講生に見ていただいた。
- ・毎回、講義だけではなくグループで考えたり、ワークショップ形式で養成講座は進められた。



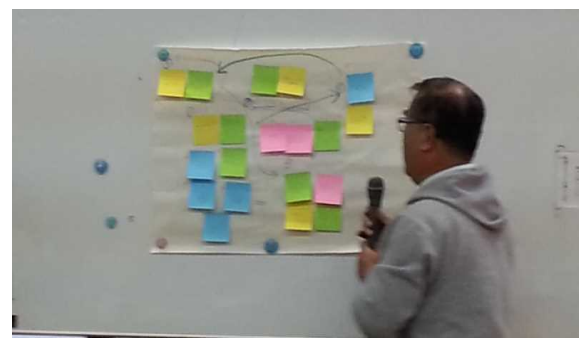
○取組事例②

【第10回平成28年12月3日】

- ・最後の講義のあと、養成講座で学んだことや気づいたこと、考えたことについての意見交換を行った。KJ法でグループで話し合い、各々のグループの代表がその内容を発表した。

【第7回平成28年10月22日】

- ・和歌山県を題材に、さまざまな日本語表記や絵、色を工夫してポスター作りを行い、各グループが豊富なアイデアを発表した。



(2) 目標の達成状況・成果

アンケート(平成28年12月3日実施)では全員が「このプログラムを受ける前よりも生活者としての外国人に対する日本語教育への理解が深まった」と答えた。95%の回答者が「生活者としての外国人のための日本語教育に関わってみたい」、「ことばに対する意識が深まった」と答えている。また85%が「このプログラムを受けて日本語教育の基礎知識を知ることができた」、「多文化共生社会について考える機会になった」と回答した。大半の参加者が「つなぐれジャパニーズ」の活動に、日本語教室だけではなく、文化紹介やホームビジット、観光や生活支援への1日同行などに関わりたいという意思表示をした。感想の中には「ワークショップが印象に残っている」「やさしい日本語が外国人のみならず日本人のこれからにとっても大切である」「『国語を教える』のではなく『日本語の支援をする』のだということを教えていただき、目が覚めた気もちだ」「『自分が学ぶ』のだということも改めて心に強く響いた」「外国人が抱える言葉についての具体例が良く分かった。」「日本語は難しい」「普段使っている母語について基本文法について無知だったことが改めてわかった」などがあった。「ひとりひとりに寄り添い、個々に解決していくという手間ひまを惜しまない人」でないとできない、「色々な活動を教えてもらい、何か自分にもできることがあるのではと思った」などのコメントもあった。全体として参加者に学びや気づき、活動への関心を持ってもらえる講座となった。

(3) 今後の改善点について

今後の課題・改善としては、今回の養成講座参加者といかに繋がって活動を上げていくかというものがある。さまざまな形態のボランティア活動参加を提案していくこと、さらに地域人材の発掘に努めることなどが挙げられる。また、地元機関との連携をし、コーディネータ機能について議論することが必要であるとともに、日本語以外の専門を持つ人材からの協力と連携についても考え、今後の養成講座に取り入れていくことも必要である。2度目および現役ボランティア対象のブラッシュアップ講座の開設の検討していく必要がある。

日本語教育のための学習教材の作成【教材の名称：つなぐれジャパニーズ日本語教材「寄り添う心はお互いさま～日本語でつながろう～」】

目的・目標	和歌山県に在住する外国人の日本語教育支援及び日本語を使った日本事情の説明や生活に役立つ情報提供を行うために、地域に密着した地名や方言を取り入れた教材の作成をする。多言語教材		
対象	つなぐれジャパニーズで学習する外国人、地域の外国人		
教材の内容	「カリキュラム案」で扱っている生活上の行為の内容を盛り込んだ実際の場面を参考に、1. 表記、2. 近所づきあい、3. 買い物、4. 市役所、5. 郵便局・銀行、6. 病院などの内容を扱う。地域の地名や公共施設名を多用し学習者の生活に密着した内容である。		
実施期間	平成28年 9月 3日～平成29年3月18日	成果物のリンク先	
作成教材の想定 授業時間 コマ数と頁数	1回 1時間 × 60回 = 時間分	教材の頁数	54 ページ
カリキュラム案活用	Ⅲ 消費活動を行う Ⅶ 人とかかわる Ⅷ 社会の一員となる X 情報を収集・発信する		
教材の活用方法	水・木・土曜日の日本語教室で 副教材として活用。改善を加えていく。		
今後の活用の予定	授業を実施しながら、教材開発を並行して行った。今後はU1～U5までの教材を水・木・土曜日の日本語教室で活用しながら改善を加えたい。また学習者へのアンケートをもとにU10までの教材案を作成しているので、それらの開発にあたる予定である。		

日本語アンケート に ご協力ください

つなぐれジャパニーズ

性別

男性

女性

年齢

10代

20代

30代

40代

50代以上

職業

学生

パート

派遣生

会社員

その他

現在の居住地

新築住宅

賃貸住宅

親中居

中居

上居

ご希望の教材

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

お名前

フリガナ

漢字

お電話番号

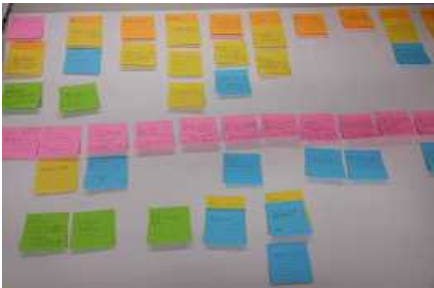
フリガナ

漢字

おメールアドレス

フリガナ

漢字



文化庁事業

平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
日本語実践プログラム(A)

つなぐれジャパニーズ

寄り添う心はお互いさま
～日本語でつながろう

4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

和歌山県に在住する外国人の日本語教育支援及び日本語を使った日本事情の説明や生活に役立つ情報提供を行う。
また、「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り、自立した生活ができ、日本人との相互理解を深め、互いの文化を尊重できるようにすることを目的とする。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

教室型・対話型の日本語支援活動に加えて、お花見・食材の購入から始める料理作りなどの教室外活動、防災イベントへの参加などを通じて、「生活者としての外国人」が日本語教育を受けるだけでなく、日本事情を知り、地域社会で意思疎通を図る機会を提供できた。人材養成講座の実施で地域人材の発掘・ボランティアの養成が進んでいる。教材作成における各地域施設(役所・病院・郵便局・スーパーなど)への資料収集活動、生活支援を兼ねた病院・役所・図書館・保育所への同行は、地域に「生活者としての外国人」の存在を知らせることになり、国際交流・国際理解への良いきっかけとなった。日本語学習者・養成講座受講者からのアンケート調査、及び運営委員からの事業へのアンケート調査からは、「非常に良い～良い」という評価を受けている。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

教室型・対話型の活動の中で「標準的なカリキュラム案」に沿って学習・練習した日本語のしゃべり方・日本語理解は、医者診察・防災活動など(Ⅰ健康・安全に暮らす)、スーパーでの買い物など(Ⅲ消費活動)、自己紹介・挨拶など(Ⅶ人と関わる)、役所窓口・地域活動への参加など(Ⅷ社会の一員となる)、の現場で役立っている。カリキュラム案の中には、外国人児童生徒の地域での生活を支援する項目が提示されておらず、児童の保育園での生活支援にかかわる場面(給食メニュー・連絡帳・行事配布物など)や、生徒の学校内外での生活支援にかかわる場面(保護者会連絡・面談連絡など)を前もって想定して、学習・練習することはできなかった。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

運営委員会委員が所属組織に働きかけ、紀の川市役所・岩出市教育委員会・和歌山県国際交流協会・和台国際教育研究センター・近大生物理工学部からの後援を得た。このことは、当会の活動が、文化庁はもとより地域の団体から認められていると示すこととなり、力強い支援となった。教室や講座開講の際の公民館の使用・教材作成のための資料収集に際しての地域での理解・生活支援活動への理解など、地域組織や地域住民の国際交流・多文化理解への機運が高まった。その他の具体例としては、技能実習生の雇用企業が就労シフトを調整して教室外イベント参加を促進・保育所は外国人児童のためにハラル食に配慮・NPO法人は外国人の就労受け入れ・養成講座受講生からのボランティア活動希望などがあげられる。

(5) 事業実施に当たった周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

人材養成講座のチラシ・ポスターを運営委員会委員や後援団体を通して地域企業・住民に広く配布。JR駅舎、郵便局、スーパーなどに掲示した。その結果、養成講座の受講者希望者は予定の2倍の人数になった。コミュニティ紙のニュース和歌山が、ボランティア養成講座の記事を、その後、一面で「外国人労働者に居場所を」というタイトルで2度にわたり当会の活動を掲載。NHK和歌山がテレビで和歌山版と関西版で2度にわたり「地域の外国人を支えたい」というタイトルで日本語教室がない地域での当会の活動を、日本語教室・人材養成講座・教材作成・異文化交流の多岐にわたって紹介。これらは、本事業の取り組みを地域に効果的に発信し、地域住民の国際交流・国際理解の機運を高めることに大きく貢献した。

(6) 改善点、今後の課題について

・日本語支援人材の確保・養成: 現在の実働部隊である中核メンバーが4名と少ない状態であるにもかかわらず、地域での日本語学習希望者がさらに増加しつつある。学習者の日本語レベルや居住場所を考慮すると、教室数を増やす必要があるが、日本語支援に当たる人材の拡充・発掘が課題である。
・日本語教室の形態: 教室型と対話型の異なる2種類があるが、教室外活動の中で対話を実施しており、対話型の中でも文型指導を実施している。
・外国人児童への日本語支援・生活支援: 対話型のおしゃべり会には、外国人児童も親と参加しており、支援の必要性を感じる。標準カリキュラムには、外国人児童を対象にした項目がなく、支援の範囲も不明確である。支援内容については、今後教育委員会などの関係者とも検討して行く予定である。

(7) その他参考資料